

## 別紙様式 1

## 平成27年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立埋蔵文化財総合センター	施設所在地	板野郡板野町犬伏字平山 8 6 番 2
指定管理者名	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
施設所管課	教育文化課	【連絡先】	088-621-3186

## 1 施設の概要

設置年月日	平成7年11月3日
設置目的	埋蔵文化財を保護し、かつ、その活用を図り、県民文化の向上に資するため、埋蔵文化財保護行政の拠点とする
施設内容	展示室、研修室、実習室、図書閲覧室、西山谷2号墳石室展示施設、弥生の音色広場ほか
利用料金等	無料
開館日・休館日等	休館日：月曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月28日から1月4日、特別整理期間（毎年1回10日以内）

## 2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	<p>1 徳島県立埋蔵文化財総合センターの設置及び管理に関する条例第2条第3号に掲げる業務のうち、展示資料の供覧に関する業務及び同条第4号に掲げる業務のうち、教育委員会が必要と認める業務</p> <p>2 センターの施設等の維持管理（教育委員会が指定する補修等を除く）に関する業務</p> <p>3 その他センターの管理に関し教育委員会が必要と認める業務</p>
------------	---

## 3 施設の管理体制

管理体制	<p>正職員 2 名 臨時職員 1 名 計 3 名</p> <p>徳島県立埋蔵文化財総合センターの施設では、展示室・研修室・実習室・図書閲覧室、西山谷2号墳石室展示施設、弥生の音色広場等を指定管理の対象としている。</p> <p>施設管理については、管理者1名、事業課の専門研究員1名が指定管理業務主任者を兼務し、受付案内に嘱託員1名を雇用して充てた。</p>
------	--

## 4 施設の利用状況

利用者数 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	27年度	219	627	589	780	1,173	501	1,858	797	517	560	638	751
前年度	422	720	1,116	974	915	221	812	380	132	246	500	423	6,861
前々年度	520	415	1,145	1,373	906	514	812	376	494	329	439	426	7,749

## 5 収支の状況

(単位：千円)

項目		平成 27年度	平成 26年度(前年度)	平成 25年度(前々年度)
収入	指定管理料	14,882	14,636	13,713
	利用料金収入	0	0	0
	事業収入	0	0	0
	その他	584	460	479
	計	15,466	15,096	14,192
支出	人件費	7,350	6,895	6,441
	管理運営費	5,166	5,490	4,885
	事業費	1,804	1,593	2,190
	その他	1,146	1,118	676
	計	15,466	15,096	14,192
収支		0	0	0

## 6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 企画展の看板，展示解説シートなどを自主製作し，コスト削減に努めた。</li> <li>2 備品の修理について，可能な限り内部努力で実施することで，コスト削減に努めた。</li> <li>3 自主事業において，体験学習の材料費や各種講座の資料代を参加者の自己負担とした。</li> </ol>
サービス向上の取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 考古学専門講座を開催し，生涯学習への意欲を高めている県民のニーズに応じた。</li> <li>2 「アワコウコ楽倶楽部」と展示会や研究大会を共同開催した。</li> <li>3 歴史文化遺産の保存や活用を題材としたボランティア養成講座を実施した。</li> <li>4 来所者出入口やトイレに消毒液を常備してインフルエンザなど流行性疾患の予防に努めた。 また，セアカゴケグモへの注意喚起も実施した。</li> <li>5 埋蔵文化財センターボランティア「アワコウコ楽倶楽部」へ活動のサポートを行った。</li> <li>6 来所者が遺跡や出土品に興味を持ち，より深い知識を得るため，タブレットなどの電子端末機器を利用した情報提供を開始した。</li> <li>7 矢野銅鐸の4K画像放送を常時放映し来館者サービスに努めた。</li> </ol>

## 7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<p>(1) アワコウコ楽の逸品 6/2(火)～7/19(日) 大松遺跡の中世人を取り巻く動物たち - 出土した 貝と骨から -</p> <p>(2) アワコウコ楽の逸品 7/21(火)～8/23(日) 触れる土器展示</p> <p>(3) 長国の埋蔵文化財 8/29(土)～9/27 長国の遺跡in埋文センター</p> <p>(4) レキシルとくしまミニ展示 12/19(土)～1/31(日) 銭！発掘</p> <p>(5) 第1回四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28/1/12(火)～3/13(日) 四国の黎明</li> <li>・1/31(日) 講座「四国の黎明」</li> <li>・3/6(日) 講演会「日本の黎明」</li> <li>・おもしろ古代体験「世界に一つの縄文土器作り」2/7(日) 成形 2/28(日) 焼成</li> <li>・バスツアー「県南の遺跡を見に行こう！」3/19(土)</li> </ul> <p>(6) レキシルとくしまミニ展示 2/2(火)～3/31(木)</p> <p>(7) アワコウコ楽デリバリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県庁県民広場 5/14(木)～6/12(金) 阿波古代文化がここにある(アワの埴輪の世界)</li> <li>・キョーエイ鳴門駅前店 9/12(土)～9/20(日) 鳴門の遺跡展</li> <li>・徳島県庁県民広場 11/16(月)～12/18(金) 銭，発掘！</li> </ul> <p>(8) スケッチコンクール 夏季 7月～9月</p> <p>(9) 古代体験まつり 10/25(日)</p>
----------	---

## 8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・イベント毎に来館者へのアンケートを実施し、事業企画に反映させるよう努力している。 ・講座や企画展などが地元雑誌に取り上げられるなど、施設のPRが浸透しつつある。 ・施設の利用促進を図るため、地域関連施設との連携を進めるため、東阿波文化体験コンソーシアムに参加した。
自主事業 ・計画した自主事業の実施	S	・収蔵品を活かした、企画展や講座などを積極的に実施し、県民の興味・関心に大きく貢献している。 ・「発掘へんろ」は、四国内の埋蔵文化財調査機関が協力して企画展や講演会などを開催するもので、文化財の連携において先駆的な事業として県民各位より評価を得ている。 ・ボランティア組織の育成から活動支援までを一体的に実施するため「史跡ウォーキング案内ガイドプロジェクト」「万葉の草花を楽しむプロジェクト」「古代ものづくりプロジェクト」と3コースの事業を実施し、文化財ボランティア養成のための先進的な取り組みを行っている。 ・徳島県立埋蔵文化財総合センターの施設外において、埋蔵文化財の展示・解説を行うことにより、センターの利用促進を図るため「アワコウコ楽デリバリー」を徳島県庁で2回、キョーエイ鳴門駅前店で1回、計3回実施した。 ・「古代体験まつり」の開催において新企画の「発掘体験」や「ドロマンコ作り」等の低年齢の子ども体験できる内容を取り入れ多くの方に来館して楽しんでもらえる事業を実施した。
適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・県民利用の設備については、定期的なメンテナンスを実施するなど、適切に管理している。
収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・体験学習など材料費が伴うものについては、あらかじめ基準を設け、利用者に材料費の一部負担をお願いし、コスト削減を図っている。
管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・セルフモニタリングの結果については、毎月10日までに報告書を提出している。 ・職員に対し、人権研修やAED講習会などを実施している。
職員体制 ・職員の労働条件	A	・適切にイベント体験事業を実施するために、利用者サービスを対応する人員の確保に努めている。
地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・受付案内業務等にシルバー人材センターを活用しているが、派遣された方がアワコウコ楽ボランティアに所属するなど、二次的効果が表れている。
地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・センターで養成したボランティアが活動できる場の提供するとともに、自立した組織としての継続した活動の支援を実施している。
安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・危機管理マニュアルを職員全員に配布し、周知に努めている。 ・避難訓練と防火教育の一環として、消防職員による消火訓練及び講話を実施した。

項 目	評 価	点 検 結 果
環境への配慮 ・ 環境対策の状況	A	・ 館内は適温を保てるよう、適切な温度管理を行っている。
その他 ・ 関係法令の遵守状況 ・ 情報公開請求への対応体制	A	・ 関係規程については職員に配布し周知に努めている。 ・ 情報公開に関する規程を設け管理体制を整備している。
総合評価	A	・ 埋蔵文化財の保存・活用を図り、県民文化の向上に資するという徳島県立埋蔵文化財総合センターの設置目的に沿って、指定管理者業務を適切に遂行した。

評価指標 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。  
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。  
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

項目については、事業計画書と整合性をはかる。

## 9 その他（今後の課題及び対応等）

・ 展示施設・研修室等の指定管理対象施設を拠点とした活動を地元のボランティア団体と連携して行ったり、自立するための支援を行うなど、地域連携が優れているが、埋蔵文化財公開活用の重要性が増す今日、より一層施設の利用促進に有効な手段を考えていく必要がある。

・ 埋蔵文化財については、県民文化の向上、埋蔵文化財保護の観点から県民に広く公開し活用する重要性が高まっている。展示施設・研修室等の活動は、地元ボランティア団体と連携が図られ、ボランティア団体の自立に向けた支援も行われているが、より一層、施設の利用を促進する必要がある。